様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6 月 20 日

東京都知事　　殿

提出者
住　所　神奈川県横浜市西区西平沼町5-55

氏　名　株式会社キャプティ神奈川導管工事C

所　長　　浅野　尚樹

電話番号　045-314-6331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東京都管轄区域内（八王子を除く）
事業場の所在地	東京都管轄内事業場（八王子を除く）
計画期間	令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

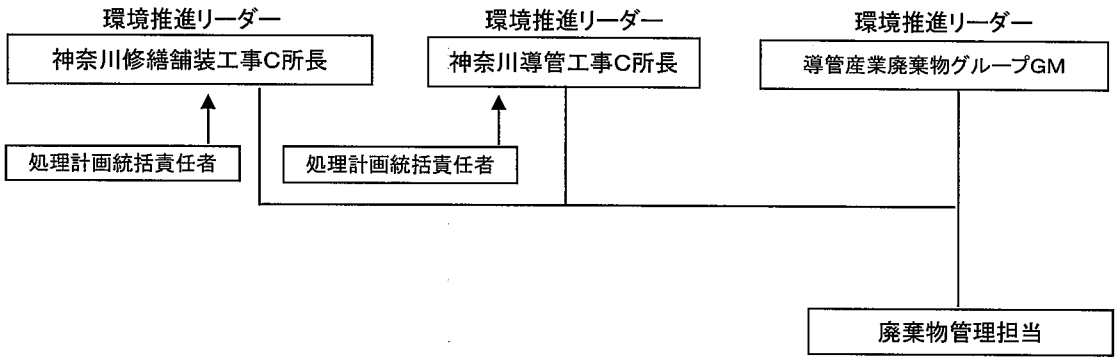
①事業の種類	建設業③
②事業の規模	元請完成工事高　4，794百万円
③従業員数	95人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・道路建設工事（ガス工事） がれき類（アスファルト・コンクリート魂） →収集運搬会社委託→再生処理業者に委託して再資源化 ・木くず→収集運搬会社委託→再生処理業者に委託してチップ（合材用・燃料用）として再資源化

（日本産業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
	排　出　量	24.70　t	153.52　t
	（これまでに実施した取組） 非開削工法の継続取り組み及び小幅掘削の推進により アスファルト・コンクリートガラ、発生量　2，000トン以下に削減する事に成功した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
	排　出　量	24.00　t	153.00　t
	（今後実施する予定の取組） 非開削工法の継続・小幅掘削の推進 アスファルト・コンクリートガラ、発生量　年/2，000トン以下に削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類：中間処理業者に委託し、再資源化施設にて 再生アスコン・再生クラッシャーランに100％再資源化している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類：前年度と同じ方法で、中間処理業者に委託し、再資源化施設にて再生アスコン・再生クラッシャーランに100％再資源化する予定。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和３年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物	
排　出　量	880.92　t	56.30　t	4.56　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物	
排　出　量	880.00　t	56.00　t	4.00　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	コンクリート片
	全処理委託量	24.70 t	153.52 t
	優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t
	再生利用業者への処理委託量	24.70 t	153.52 t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t
	（これまでに実施した取組） 契約基準に従って、産業廃棄物を委託できる、処分会社・収集運搬会社を選定し、書面による契約を実施している。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和３年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和３年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物	
全処理委託量	880.92 t	56.30 t	4.56 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	880.92 t	56.30 t	4.56 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		建設汚泥	コンクリート片
	全処理委託量		24.00 t	153.00 t
		優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t
		再生利用業者への処理委託量	24.00 t	153.00 t
		認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t
	（今後実施する予定の取組） ・可能な限り、優良認定処理業者から選定する。 ・再資源化施設への搬入を必ず行う。 ・委託先処理業者の現地視察を実施する。			
※事務処理欄				

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物	
全処理委託量	880.00 t	56.00 t	4.00 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	880.00 t	56.00 t	4.00 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。